

シェアサイクル推進事業

商工観光部 観光PR課

事業費：3,000千円

事業の概要

新型コロナウイルス感染症の収束への見通しが不透明な状況において、観光関連産業が多大な影響を受けている中、観光客の移動手段が限定され不便をきたしている霧島神宮駅及び大隅横川駅から周辺観光スポットへの二次アクセスの充実を図るため、シェアサイクル事業の運営・管理を実施する団体に対して、前澤友作氏からのふるさと納税を財源とした補助金を交付し、電動アシスト自転車を活用した移動手段を確保することにより、本市の観光振興を図る。

事業内容・事業費内訳等

■事業費 3,000千円

【実施団体】霧島神宮駅：駅前通り会、大隅横川駅：大隅横川駅保存活用実行委員会

【事業内容】シェアサイクル導入事業（電動アシスト自転車導入費、自転車修繕費、保険料、周遊マップ等制作費、その他）

【事業年度】令和4年度

【事業費】負担金補助及び交付金：駅前通り会（霧島神宮駅） 2,000千円 大隅横川駅保存活用実行委員会（大隅横川駅） 1,000千円

事業実施の経緯及び効果

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、多大な影響を受けている観光関連産業や中山間地域を活性化させるため、二次アクセスの充実を図るものとして、新しい観光形態として全国的に取り組が進んでいるシェアサイクルを導入することにより、本市を訪れる目的の一つとして確立させ、観光関連産業への経済効果を波及させる。

また、二次アクセスの充実を図ることで、令和4年2月に本殿等が国宝指定された霧島神宮や、歴史的な観光資源である山ヶ野金山跡地はもちろんのこと、駅周辺の新たな観光素材の開発によりシェアサイクルでの周遊が可能となり、本市への観光客の増加を図るとともに、地域経済の活性化に繋げる。